

2026年6月2日

各位

SBIホールディングス株式会社

**SBIグループ、日本の金融グループとして初めて、**  
**Anthropicと共同でAIトランスフォーメーションを全面推進**  
**～Ridge-iと3社で、最新セキュリティと金融AIエージェントの導入を実施～**

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「当社」）は、米 Anthropic PBC（以下「Anthropic」）との間で、日本の金融グループとして初めて、生成AIプラットフォーム「Claude」を活用した全社的なAIトランスフォーメーション（AX）を推進することに合意いたしましたので、お知らせいたします。

本取り組みでは、Anthropic から当社グループに対して、最新モデル・機能を搭載したセキュリティ機能や生成AIへの優先的なアクセス、製品ロードマップの早期共有、エンジニアトレーニングの個別支援等が提供されます。当社はこれらの支援や先進的技術を最大限に活用し、グループ全役職員をAI活用によって独自の付加価値を創出できるAI人材へと育成することを目指します。また、日本の金融規制に準拠することを前提に、堅牢なサイバーセキュリティおよび業務要件に適合したAIエージェントの共同開発を推進してまいります。さらには、SBIグループの持つ膨大な金融データとAnthropicの持つ技術力を掛け合わせ、新しい顧客向けの金融AIエージェントの共同開発も検討してまいります。

なおその実装にあたっては、当社の持分法適用会社である株式会社Ridge-i（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳原 尚史、以下「Ridge-i」）を中核に、SBIグループ横断でのエンジニアリング体制を構築して、開発・運用を進めます。

## ■ 背景

金融業界においては、生成AIおよびAIエージェントの実用化が急速に進展しており、業務プロセスの抜本的な再設計から、顧客へ金融サービスを提供するあり方そのものまでもが大きく変わろうとしています。一方で、金融機関がAIを本格的に業務・サービスに組み込むに際しては、サイバーセキュリティ、データ保護、出力の制御性、説明可能性、規制対応など、極めて高い水準の安全性も求められます。

Anthropicは、AIの安全性研究を創業以来の中核に据え、Constitutional AIをはじめとする独自のアプローチによって、高い推論能力と業界最高水準の安全性を両立した生成AI「Claude」を開発・提供しています。

当社は、銀行・証券・保険・資産運用・暗号資産・メディア等の幅広い事業領域を有する総合金融グループとして、これらの領域全てでAIを実装・活用し、安全性とイノベーションを両立しうるAnthropicと直接的・継続的な信頼関係を構築することで、顧客体験と生産性の双方を向上させることを目指しています。

## ■ 主な協働内容

### (1) SBIグループ全体でのClaude活用による業務改革

SBIグループはClaudeを、原則的に全グループ役職員を対象に展開いたします。また業務システムのAPI経由でもClaudeを活用します。これにより、業務領域・職種を問わず、役職員が日常的に最先端の生成AIを活用できる環境を整備し、あらゆる領域での業務改革を通じて、コスト削減を行うとともに、それにより生まれた資金を次なるAI投資に振り向ける好循環を形成し、顧客利便性の更なる向上を実現します。

## 【主なユースケース】

- ・ システム開発プロセスにおける AI の活用
- ・ MCP に対応した顧客向け AI エージェントサービスの提供
- ・ 問合せ対応、データ分析、UI/UX 改善、需要予測など、人間と AI エージェントを組み合わせたハイブリッドな業務運営
- ・ 法人営業・リレーションシップマネジメントのための AI・データ活用

### (2) Anthropic の最先端 AI セキュリティモデルの先行利用および共同実証

最先端の AI モデルの能力がサイバーセキュリティ分野にも広がりつつあり、あらゆるソフトウェアに潜む脆弱性が、即座に発見されうる段階に近づいています。

当社は金融グループとして顧客に安心・安全なサービスを提供するには、最先端の AI 術をいち早く活用し、堅牢なサイバーセキュリティを確立する必要があると考えています。

そのために、まずは Ridge-i と SBI 証券が開発中の生成 AI チャットサービスを対象に、Anthropic の最新セキュリティ技術「Claude Security」の導入に向けて、日本の金融機関として初めて共同検証を実施します。

当社は、継続して Anthropic から最新モデル・機能を搭載した生成 AI への優先的なアクセス、業界動向および防御技術に関する最新の知見の共有を受けつつ、金融領域に求められる水準のセキュリティを早期に実装し、AI 安全実装の標準モデル策定を目指します。

### (3) 日本金融市場への AI アクセス基盤および AI エージェントの共同実験

SBI グループがすでに保有している、日本の金融市場への網羅的なアクセスと知見、データアセットと、Anthropic が開発中の金融知識に関する AI エージェントサービスを組み合わせることで、Claude から日本の金融市場・金融商品の情報および決済基盤にアクセスするための共同実験を実施します。この実験により、SBI グループは Claude を通じた日本の金融市場へのアクセス基盤を構築し、SBI グループが目指すグローバル金融コンシェルジュサービスをいち早く実現します。

### (4) 顧客向けサービスへの Claude 組み込みによる体験価値の向上

SBI グループが開発する、銀行・証券・保険・資産運用・暗号資産・メディアを横断したプラットフォームに、Claude を生成 AI エンジンとして組み込むことで、新たな顧客価値を創造します。これにより、エンドユーザーおよび提携先事業会社に対し、パーソナライズされた金融 AI エージェントが、資産運用アドバイス、家計分析、保険提案などのサービスを提供します。

### (5) Ridge-i を中核に据えた AX 推進体制の構築

上記(1)~(4)の取り組みを現実にするには AI 技術と活用に精通したチームが不可欠です。SBI グループの持分法適用会社である、Ridge-i は SBI グループの AX を推進しており、Anthropic との協業においても最新モデル・機能への優先的なアクセス、エンジニアトレーニングの個別支援等をうけることで、セキュリティ技術の共同検証、ユースケース開発、AI エージェント開発、運用定着などをリードします。また当社グループのエンジニアとその知見を共有することで、金融業界固有の規制・業務要件に即した AI エージェント開発の内製化と知見蓄積を並行して進めます。

当社グループと Anthropic からの強力な支援、Ridge-i による実装・推進が加わることで、日本の金融グループとしては類例のないスピードと品質で、生成 AI および AI エージェントの社会実装を進めてまいります。

■ 関係者コメント

【SBI ホールディングス 代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝】

「Anthropic の技術が世界に衝撃を与え、加速的に AI の性能が進化する中、SBI グループはいち早くグループ全体の AI ドリブン化を戦略目標として掲げて、AI の活用を進めてきました。特に顧客に安心・安全なサービスを提供することがその使命である金融機関にとっては、世界最先端の AI に対応できるセキュリティ体制を、将来を見越して整備することもまた必要不可欠です。この度世界をリードする技術と専門性を保有するトッププレーヤーと提携し、このような機会に恵まれたことを非常に嬉しく思います。」

【Anthropic Japan 代表執行役 社長 東條 英俊】

「金融は、人々の生活と社会経済活動を支える重要な基盤です。その金融領域に生成 AI を実装するにあたっては、極めて高い水準の安全性、信頼性、そして説明責任が求められます。Anthropic は創業以来、AI の安全性に関する研究を事業の中核に据え、社会から信頼される AI を提供することを使命としてまいりました。長年にわたり日本の金融サービスを牽引してこられた SBI グループの皆様と、安全で責任ある AI の社会実装に向けて協働できることを大変嬉しく思います。日本の金融業界、さらには社会全体に貢献できるよう、引き続き取り組んでまいります。」

【Ridge-i 代表取締役社長 柳原 尚史】

「SBI グループと Anthropic という、規模・技術力ともに強力なパートナーと共に、日本の金融への AI 実装を牽引できることを光栄に思います。

Ridge-i はこれまで、AI・最先端技術の社会実装と変革を追求してきました。生成 AI は実用段階に入りましたが、金融領域が求める安全性・規制対応の水準を満たすことは容易ではありません。今回の協業により Anthropic から最新モデルや技術知見の共有を受けることで、規制・社会が求める水準を満たしながら、現場で機能する AI をより早く、より確実に届けられると確信しています。生成 AI と AI エージェントが金融サービスの根幹を変えようとしている今、この三者の連携が、日本の金融 AX におけるひとつのモデルとなることを目指します。」

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126